

## Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

## マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、財政健全化策を巡る閣内対立が再び激化し、予算補強や経済成長回復に必要な改革が進展しないとの懸念が高まったことで、レアル売りが優勢となり、一時3.88台後半までレアル安が進行した。ブラジル議会が来年のプライマリーバランス黒字目標を引き下げた場合、Levy財務相が辞任を余儀なくされるとの一部報道もレアルの重石となっている。また、ルセフ大統領弾劾を巡る政治的混乱も投資家のブラジル資産離れを誘発しているが、週末13日にはブラジル全土で長引く不況と汚職に抗議する市民がルセフ大統領の弾劾を求め、デモ行進を行った。下院での大統領弾劾請求審査開始後初となるデモとなったが、サンパウロでのデモ参加者は4万人程度になったと見られ、今年に入って実施された同様のデモと比較すると参加者は減少。下院では野党が、「ルセフ氏は再選を目指していた2014年に政府会計を不正に操作した」と申し立てているが、デモ参加者の不満は過去最悪と言われる経済低迷と、拡大する巨大汚職へも向かっている。

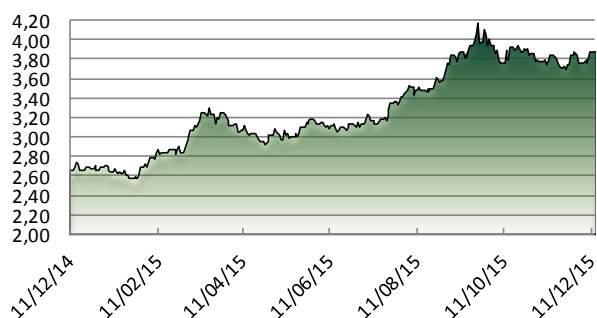
今週15-16日には注目のFOMCが開催される。マーケットでは利上げの可能性がかなりの程度織り込まれているため、レアルを含む新興国通貨に対するドル買いの反応も限定的に留まると予想されるが、利上げを契機に緩やかなドル買イトレンドが中長期に進行する公算が高いと思われる。

## マーケットデータ

Indicator		Unit	12月10日	12月11日	前日比	11月11日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,8124	3,8728	+0,0604	3,7610	+0,1118
	対円	JPY	31,89	31,24	-0,65	32,65	-1,41
	対ユーロ	BRL	4,1701	4,2566	+0,0865	4,0403	+0,2163
円	対ドル	JPY	121,56	121,01	-0,5500	122,86	-1,8500
	対ユーロ	JPY	133,00	132,93	-0,07	131,98	+0,95
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	45.631	45.263	-368	47.065	-1.802
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	466,6	479,1	+12,5	407,9	+71,2
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	15,73	15,89	+0,16	15,45	+0,44
DI Future Jan17 (金利先物)		%	15,98	15,99	+0,01	15,47	+0,52
3 Months US Dollar Libor		%	0,502	0,512	+0,010	0,359	+0,153
CRB Index (国際商品指数)		Index	177,0	174,9	-2,1	188,3	-13,4

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

